



消防団の組織概要

令和6年4月1日現在

都道府県名	岩手県	所在地	〒028-7995			
市町村名	洋野町		岩手県九戸郡洋野町種市23-27			
消防団事務所管	総務課防災推進室	電話番号(直通)	0194-65-5918	FAX	0194-65-4334	
消防団名	洋野町消防団	メールアドレス	bosai@town.hirono.iwate.jp			

組織	分団数		14	分団	ホームページURL	https://www.town.hirono.iwate.jp/
	うち機能別分団数		0	分団	SNSアカウント	
	方面隊数		0	隊		
	部数		41	部	消防団活動事例・PR等	
	班数		90	班		
団員数	条例定数		630	人	【町の紹介】 洋野町は、平成18年1月1日に旧種市町と旧大野村が合併して誕生し、岩手県東北端、青森県との県境に接する小さな町で、人口約15,000人、面積は約300km²です。 海原（種市地区）には、ウニ、アワビ、ホヤなどの海の幸が育ち、高原（大野地区）では、日本各地で使用されている木工の産地のほか、乳製品や農産物などを生み出す名人・達人が腕をふるっており、木炭生産量は、全国1位をほこっています。 【消防団の紹介】 消防組織は、明治42年に旧大野村で、昭和5年に旧種市町（種市村）で「消防組」としてそれぞれ発足し、町村合併後の組織改編により平成18年1月平成19年4月1日に「洋野町消防団」として組織された消防団です。 【消防団の活動】 ①消防操法技術の錬磨 旧種市町時代に岩手県消防操法競技会で9度の優勝、全国消防操法大会（ポンプ車）では優勝を含む2度の出場など、現在もポンプ車、小型ポンプいずれも毎回県大会に出場し、火災対応時の基礎・基本操作に力を入れています。 ②東日本大震災の活動 本町は、明治29年6月、昭和8年3月の三陸津波で大勢の犠牲者が出た惨劇を風化させず、地域での伝承や消防団活動の効率化をはかる中で迎えた平成23年3月11日の東日本大震災では、地震発生から12分で完了した水門閉鎖や迅速な避難誘導等を行った結果、人的被害（死傷者、行方不明者）が発生しなかったところです。 【特別表彰「まとい」の受賞】 令和元年度第72回日本消防協会定例表彰において念願でありました特別表彰「まとい」を受賞することができました。今後においてもまとい受賞に相応しい消防団として、団員数の確保・維持に努めるとともに、改革を図りながら、効率的な活動行っています。	
	実員数		493	人		
	男性団員数		485	人		
	女性団員数		8	人		
	基本団員数		493	人		
	大規模災害団員数		0	人		
	その他の機能別団員数		0	人		
職業構成別団員数	国家公務員		0	人		
	地方公務員		105	人		
	都道府県職員		7	人		
	市区町村等職員		98	人		
	特殊法人等公務員に準ずる職員		8	人		
	農協職員		8	人		
	日本郵政グループ		2	人		
	その他		378	人		
	ポンプ	普通消防ポンプ自動車		11		台
水槽付消防ポンプ自動車		4	台			
小型動力ポンプ		小型動力ポンプ付積載車	26	台		
		小型動力ポンプ（車両に積載していないもの）	3	台		
		手引き動力ポンプ	0	台		
年額報酬	報酬額（階級：団員）	年額	36,500	円		
	（参考）交付税単価（階級：団員）	年額	36,500	円		
出動報酬	火災		8,000	円		
	風水害等の災害		8,000	円		

※1:「消防団の組織概要等に関する調査」による

※2:「年額報酬」「出動報酬」の額は、令和6年4月1日現在の条例で定める額。

「出動報酬」については、日額で定めがある場合は最大額を記載。一方、日額で定めていない場合は8時間の出動に換算した額を記載。

定めがない場合又は年額支給の場合には「-」と記載。

※3:詳しくは、各市町村等のホームページ等を参照。